

## RFL 関西実行委員会 2020 年 5 月定例会 議事録【サマリ】

日 時：2020 年 5 月 10 日(日)13：30～17：00

場 所：御影東町会館（神戸市東灘区御影本町）

出席者：竹内香、山田、伊勢上、着能、野村、櫻井、日本対がん協会・大菅（以上 7 名オンラインで参加）、  
松浦、城村、須天、高岡

進 行：須天

記 録：櫻井、高岡

※敬称略（本文中も含む）

～テーマ：2020 年度「RFLJ2020 芦屋」開催について・・・Part 2～

### 1. 現在の状況

#### ①収入の支出見通し（5/1 現在の会計記録より）

収入約 85 万円。支出約 29 万円。純利益約 55 万円。今後 DM 発送費として約 12 万円予定。

収入の 5%が次年度繰越金で上限 20 万円（現時点の中止となれば、次年度約 4 万円でスタート）

➡次年度繰越金のルールについては、今年度状況を考慮し対応を対がん協会にて検討中。

#### ②芦屋市や会場の状況

- ・5、6 月開催予定だった地域はほとんど中止で一部延期あり。RFL 和歌山は、中止の場合協賛金返金の要請があったため延期となった。対がん協会は延期を要望だが、会場の都合上、中止はやむを得ない。
- ・RFL 芦屋の会場となる青少年センター及び運動場は 5 月末まで閉鎖。現在センター受付のみ対応可能。今後は国の判断に従うとのこと。現状 9 月の会場利用は可能の予定。

### 2. 開催の判断について

- ・3 パターン：9 月に通常通り・9 月に規模縮小・3 月末までに延期。
- ・7 月の定例会までに議論が必要。定例会後に告知。3 カ月で開催できるよう体制・準備を整える。
- ・台風で中止の場合も RFL 開催とカウントしており、開催できなくても対がん協会としては承認する。

### 3. 開催をめざして今の時点でできること

#### (1) 過去の参加者の意向把握調査

- ・DM 作業とともに早急を実施
- ・例年 6 月、過年度の報告書と 9 月開催の案内を発送する DM に、意見を伺うアンケートを同梱。

#### ①意向把握調査書を発送する為の費用について

- ・DM 約 1000 通、メール便 1 通 110 円発送費として 12～13 万円の費用が発生する。
- ・必要性について議論し、送付先を再精査した上で実施する方針となる。

➡継続開催する意向を伝えられる。希望する RFL の形を参加者の目線で聞けるチャンスであり、期待や希望、残念に思うことを知る機会。

#### ②意向把握調査（アンケート）の内容について

1. 目的：自由意見の中から参加者の気持ちを拾いたい。
2. 内容：案
  - (ア)自由記入の属性確認（サバイバー、ケアギバー、その他）
  - (イ)イメージしやすいように昨年プログラムを平易に紹介し YouTube の QR コードを貼付
  - (ウ)来場の目的・理由の自由記入
  - (エ)芦屋の魅力、印象的だったことなど振り返りの自由記入
  - (オ)こんなことがあったらいいな（自由記入）※数で判断するのではなく意見内容を優先
3. 方法：報告書と開催案内の DM に同梱。ホームページからも意見を募集できるようにする。オンラインでのプログラム作りを平行して行う。

#### (2) その他アイディア【9/5・6 が通常の開催にならないことを含めての検討事項とまとめ】

##### ①（手形）フラッグ

- ・事前に集める。当日はデジタルで行う。
- ・アイロン転写する素材、制約条件や、集め方。

- ➡伊勢上さん、野村さんで調べる。
- ・パッチワークでする場合はどのように集めるのか、全体で検討する。
- ・オンライン手形の方法➡山田さん、須天さんで調べる。他にも協力者を募る。
- ②塗り絵
  - ・リボンの色の紹介（がん啓発シンボル）と合わせ啓発訴求につなげる。
  - ・塗り絵のデザインは凝らなくてよい。描いてもらったものを、写真か郵送で送ってもらう。
  - ➡チラシを含めて須天さんらで考える。
- ③応援メッセージ
  - ・デジタルで写真や動画をつなげて、1つの動画にする。
  - ➡高岡さん、誰に対してどう使うか具体的なアイデアを出す。
- ④モザイクアート
  - ・写真など集める方法。業者に依頼する場合の費用の検討。
  - ➡櫻井さんに業者の比較など提案の形でまとめてもらう。
- ⑤ランナー向けのチャリティ
  - ・キャンドルランの代わりに参加型のチャリティの形。
  - ・毎年参加されるランナーさんに対してどういうものがあるのか。
  - ➡野村さんが中心となって全体でもう少し詳しく調べる。
- ⑥ルミナリエ
  - ・一般募集開始の（ホームページ）配信を、2週間後の議事録配信前に行う。
  - ・メッセージのみを送ってもらい、こちら側で作成するなど次回の定例会までに企画を考える。
  - ・お金の集め方に関して、より簡単に振り込める方法、例えばバーコードで読み込むなど、郵便局、三菱UFJ、新しく口座を開設することを含めて検討する。➡城村さんと須天さんで調べる。
- ⑦その他アイテムに関するお金の集め方
  - ・ペイジーや、電子決済など利用が可能か。利用した場合の手数料等や現金回収方法。
  - ➡みなで手分けして調べる。メーリングリストで担当を宣言し、作業が被らないように工夫。

### (3) まとめ

- ・6月定例会前の会議で各提案を持ち寄り、6月定例会で諮りある程度の骨組みまで進める。
- ・7月の定例会で中止や延期となった場合の、別のプログラム作りを平行して行う。
- ・通常通りの開催となった場合の、各セクションで検討事項を平行して行う。
- ➡定例会参加者意義なし

## 4. その他、相談及び確認事項

### (1) 協賛、協力への働きかけ方

- ・状況みながら準備している。通常通りの開催になるかは7月定例会で決める。延期の場合、「オンラインの活用を含めてなんらかの形に9月当日はする」と説明・回答することを共通認識。
- ・今年も寄付の願いをまず普通に伝える。協賛先には寄付をお願いした上で、当日投影する応援メッセージを依頼し、みなさんの熱意と合わせて伝え、想いを話してもらう。翌年以降も続くようにしていく。
- ・物資協賛も早目にスケジュールを伝える。距離感を持ちながら協賛金での協力も切り出してみる。

### (2) ヘアドネーションについて

- ・9月のRFL芦屋で切りたいとの問い合わせがあった。
- ・髪を加工する中国が停止中で送付先のジャーダックは受け入れをストップ。乾燥保管は可能。
- ・送付する場合、手分けが必要となる。企画の段階で相談する予定とする。

### (3) その他報告など

- ①3月に延期した場合の会場関係のスケジュールを確認したが、市の部署からの返事はまだない。
- ②体育協会主催フォトコンテストの選考発表は延長していると連絡あり。
- ③大阪都島さをり会館設置チャリティ自動販売機(年間約2万円寄付)が、体制変更により撤去。何か変わりで寄付できるように考えるとのこと。自販機撤去は先方の負担にならないように対応する予定。

着能（実行委員長より）

久しぶりに山田さんの顔を見ることができてうれしかった。今回オンライン会議になったが、オンラインなら参加できる方がいるので多くの方の意見をうかがうことができた。9月どうなるかがわからないが、どちらにしても今までのように気持ちを変わらず、その日を目指してみんなでやっていきたい。

以上